

東日本大震災津波伝承館開館5周年記念事業 防災体験イベント「明日からできる防災について考えよう」を実施しました

2024年9月22日 開催

キーワード：地域支援、防災教育

開催場所：東日本大震災津波伝承館（岩手県陸前高田市）

岩手県立大学防災復興支援センターは、2024年9月21～22日の2日間、陸前高田市内の各所で開催された防災・復興に関連する様々な取組に参加・参画しました。この一連の活動を3回にわたって報告いたします。今回はその第2回目となります。

防災復興支援センター学生団体FROMメンバー17名は、杉安和也副センター長（総合政策学部）の引率・監修のもと、9月22日（日）に陸前高田市にある東日本大震災津波伝承館と連携し、開館5周年にあたるこの日、館内にて体験イベントを開催しました。「明日からできる防災について考えよう」をテーマに、避難所体験（段ボールベッドの組み立て、パーティションテントの紹介等）や防災クイズ等を行ったほか、1週間分の非常食や、防災グッズ及びFROMの活動紹介のポスター等の展示も行いました。FROMメンバーが自ら企画・準備し、イベントを開催したのは今回が初めてでしたが、大人から子どもまで125名の方にご参加いただきました。

なお、東日本大震災津波伝承館では、令和6年度第2回企画展示「命を守る津波避難・避難場所の今一次の災害へ備える取組」（制作責任者：杉安和也副センター長）を館内ゾーン4（道の駅側・地域情報スペース）で令和6年9月22日～12月27日の期間、開催中です。陸前高田市にお立ち寄りの際には是非ご見学いただけますと幸いです。

防災復興支援センターは、今後も地域と連携し、次世代の地域の担い手育成と防災の普及啓発に取り組んでまいります。



写真1 参加したFROMメンバーと杉安副センター長（東日本大震災津波伝承館にて）

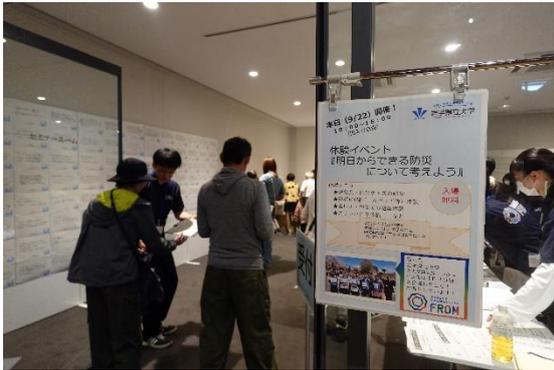


写真2～5 体験イベントの様子

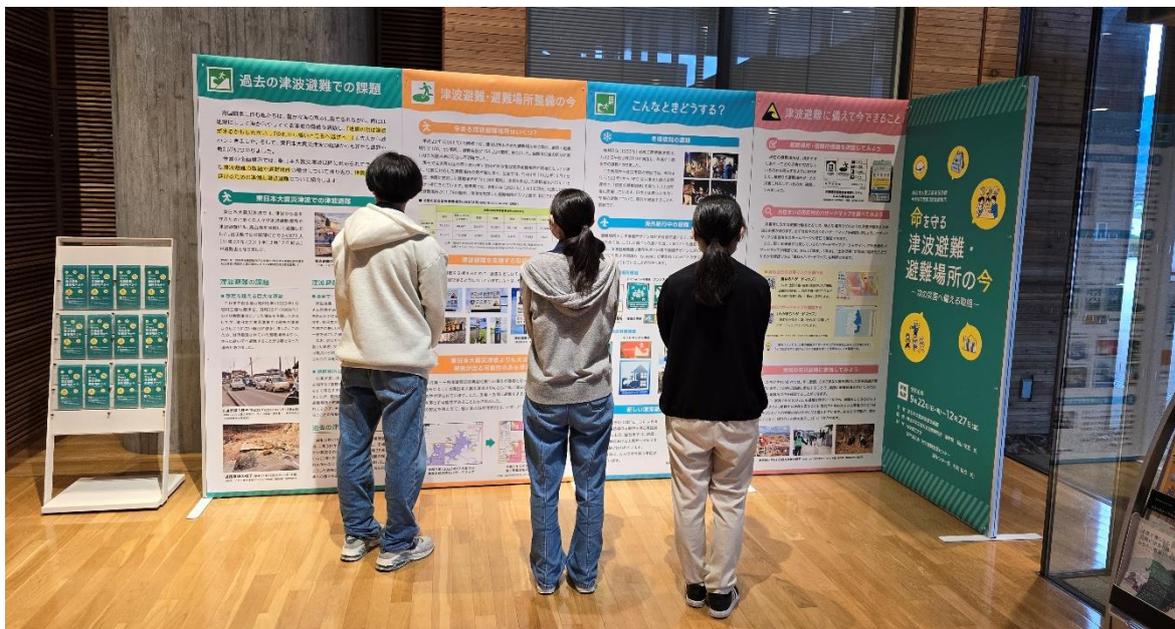


写真6 第2回企画展示 「命を守る津波避難・避難場所の今一次の災害へ備える取組」